

冬（12～2月）の天候

2007年（平成19年）冬（12～2月）の特徴：

○記録的な暖冬

冬を通じて冬型の気圧配置は一時的で、全国的に気温が高く経過した。秋田、仙台（宮城県）、東京、名古屋（愛知県）、大阪、高松（香川県）、福岡など63の気象官署で、冬の平均気温の高い記録を更新し、東日本と西日本の地域平均気温は、地域平均の統計のある1946/47年の冬以降で最も高かった。

○日本海側で記録的少雪

冬型の気圧配置が現れにくく、全国的に降雪はかなり少なかった。冬の降雪量は、北陸地方で平年の9%となるなど、北日本、東日本、西日本日本海側の降雪量は地域平均の統計のある1961/62年以降で最も少なかった。また、北陸から山陰にかけて冬の降水量も少なかった。

○急発達した低気圧と北・東日本の太平洋側の多雨

12月下旬と1月上旬に、東日本から北日本の太平洋沿岸を、低気圧が急激に発達しながら北上したため、大雨や暴風により大きな被害が発生した。これらの低気圧の影響で北・東日本の太平洋側で多雨となった。

1 概況

12月上旬の北日本や1月末から2月初めに南西諸島で低温となったほかは、全般に寒気の影響を受けにくく、冬型の気圧配置は長続きしなかった。このため全国的に気温が高く経過した。東日本と西日本の地域平均気温は、地域平均の統計のある1946/47年の冬以降で最も高かった。また、北日本、東日本、西日本日本海側の降雪量は、地域平均の統計のある1961/62年の冬以降で最も少なかった。

本州の日本海側では平年に比べ晴れの日が多かったため、日照時間が多く、東日本日本海側では日照時間が1946/47年の冬以降で最も多かった。また、北陸から山陰にかけては降水量が少なかった。

12月下旬と1月上旬に、東日本から北日本の太平洋沿岸を、低気圧が急激に発達しながら北上したため、大雨や暴風により大きな被害が発生した。これらの低気圧の影響で北・東日本の太平洋側で多雨となった。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(1) 平均気温

冬の平均気温は、全国的にかなり高かった。平年を1.5℃前後上回ったところが多く、秋田、仙台（宮城県）、東京、名古屋（愛知県）、大阪、高松（香川県）、福岡など全国の63地点（153地点中）で冬の平均気温の最高値を更新した。

(2) 降水量

冬の降水量は、東日本日本海側でかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。留萌（北海道）、福井では冬の降水量の最小値を更新した。一方、北日本太平洋側ではかなり多く、東日本太平洋側では多かった。北日本日本海側と西日本太平洋側、および南西諸島では平年並だった。

(3) 日照時間

冬の日照時間は、北日本から西日本にかけての日本海側と南西諸島では多く、東日本日本海側ではかなり多かった。酒田（山形県）、伏木（富山県）、金沢（石川県）では、冬の日照時間の最大値を更新した。一方、北日本から西日本にかけての太平洋側では平年並だった。

(4) 降雪・積雪

降雪の深さ（冬の合計）、冬の最深積雪ともに全国的にかなり少なかった。倶知安（北海道）、青森、秋田、新潟、富山など 20 地点では降雪の深さ（冬の合計）の最小値を更新した。また、江差（北海道）、むつ（青森県）、秋田、新潟、金沢など 19 地点では冬の最深積雪の最小値を更新した。

地域平均平年差（比）と階級（2007年冬（12～2月））

	気温 平年差 ℃（階級）	降水量 平年比 %（階級）	日照時間 平年比 %（階級）	降雪量 平年比 %（階級）		気温 平年差 ℃（階級）	降水量 平年比 %（階級）	日照時間 平年比 %（階級）	降雪量 平年比 %（階級）
北日本	1.6 (+)*	125 (+)	103 (+)	47 (-)*	北海道	1.5 (+)*	101 (0)	100 (0)	69 (-)*
		日 98 (0) 太 147 (+)*	日 105 (+) 太 102 (0)	日 54 (-)* 太 41 (-)*			日 88 (-) 才 110 (+) 太 112 (0)	日 97 (0) 才 98 (0) 太 106 (+)	日 69 (-)* 才 87 (-)* 太 59 (-)*
東日本	1.7 (+)*	136 (+)	104 (+)	14 (-)*	東北	1.7 (+)*	155 (+)*	108 (+)	19 (-)*
		日 81 (-)* 太 150 (+)	日 124 (+)* 太 99 (0)	日 9 (-)* 太 16 (-)*			日 117 (+) 太 182 (+)*	日 117 (+)* 太 101 (0)	日 30 (-)* 太 11 (-)*
西日本	1.6 (+)*	95 (0)	105 (+)	15 (-)*	関東甲信	1.8 (+)*	170 (+)	99 (0)	17 (-)*
		日 79 (-) 太 108 (0)	日 109 (+) 太 102 (0)	日 16 (-)* 太 14 (-)*	北陸	1.7 (+)*	81 (-)*	124 (+)*	9 (-)*
南西諸島	1.2 (+)*	112 (0)	114 (+)		東海	1.7 (+)*	121 (+)	98 (0)	12 (-)*
					近畿	1.6 (+)*	100 (0)	107 (+)	6 (-)*
				中国	1.5 (+)*	日 82 (-) 太 106 (0)	日 115 (+)* 太 103 (0)	日 13 (-)* 太 1 (-)*	
				四国	1.8 (+)*	陰 78 (-)* 陽 109 (0)	陰 116 (+) 陽 103 (0)	陰 17 (-)* 陽 28 (-)	
				九州北部	1.7 (+)*	92 (0)	110 (+)	21 (-)*	
				九州南部	1.4 (+)*	121 (+)	101 (+)	0 (-)*	
				本 奄	1.5 (+)* 0.9 (+)	本 119 (+) 奄 130 (+)	本 100 (0) 奄 106 (+)	本 0 (-)* 奄	
				沖繩	1.3 (+)*	105 (0)	117 (+)		

階級表示 (-):低い(少ない) (0):平年並 (+):高い(多い)
()*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
才:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

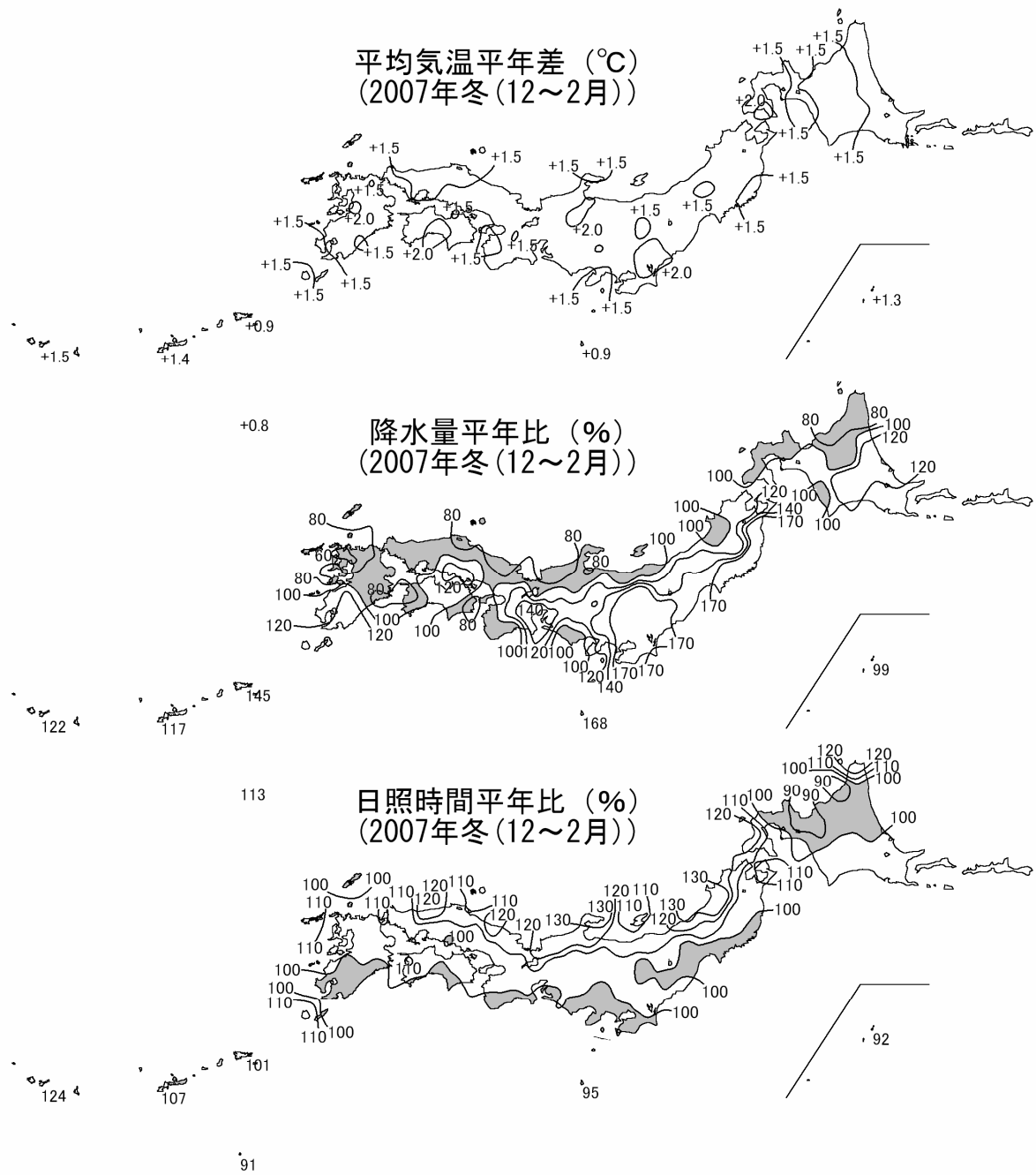
○地域平均値の記録更新（1位更新のみを記載）

- ・冬の平均気温（平年差）の最高値更新（1947年以降）
 - 東日本 +1.7℃（これまでの最高値：+1.4℃、1979年）
 - 西日本 +1.6℃（これまでの最高値：+1.3℃、1998年）
- ・冬の日照時間（平年比）の最大値更新（1947年以降）
 - 東日本日本海側 124%（これまでの最大値：121%、1989年）
- ・降雪の深さ（冬の合計）（平年比）の最小値更新（1962年以降）
 - 北日本日本海側 54%（これまでの最小値：76%、1989年）
 - 北日本太平洋側 41%（これまでの最小値：64%、1999年）
 - 東日本日本海側 9%（これまでの最小値：30%、1989年）
 - 東日本太平洋側 16%（これまでの最小値：26%、1995年）
 - 西日本日本海側 16%（これまでの最小値：17%、1972年）

(注)・基礎となるデータは全国の気象台・測候所等での観測値で、観測所数は153地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている123地点が対象である。

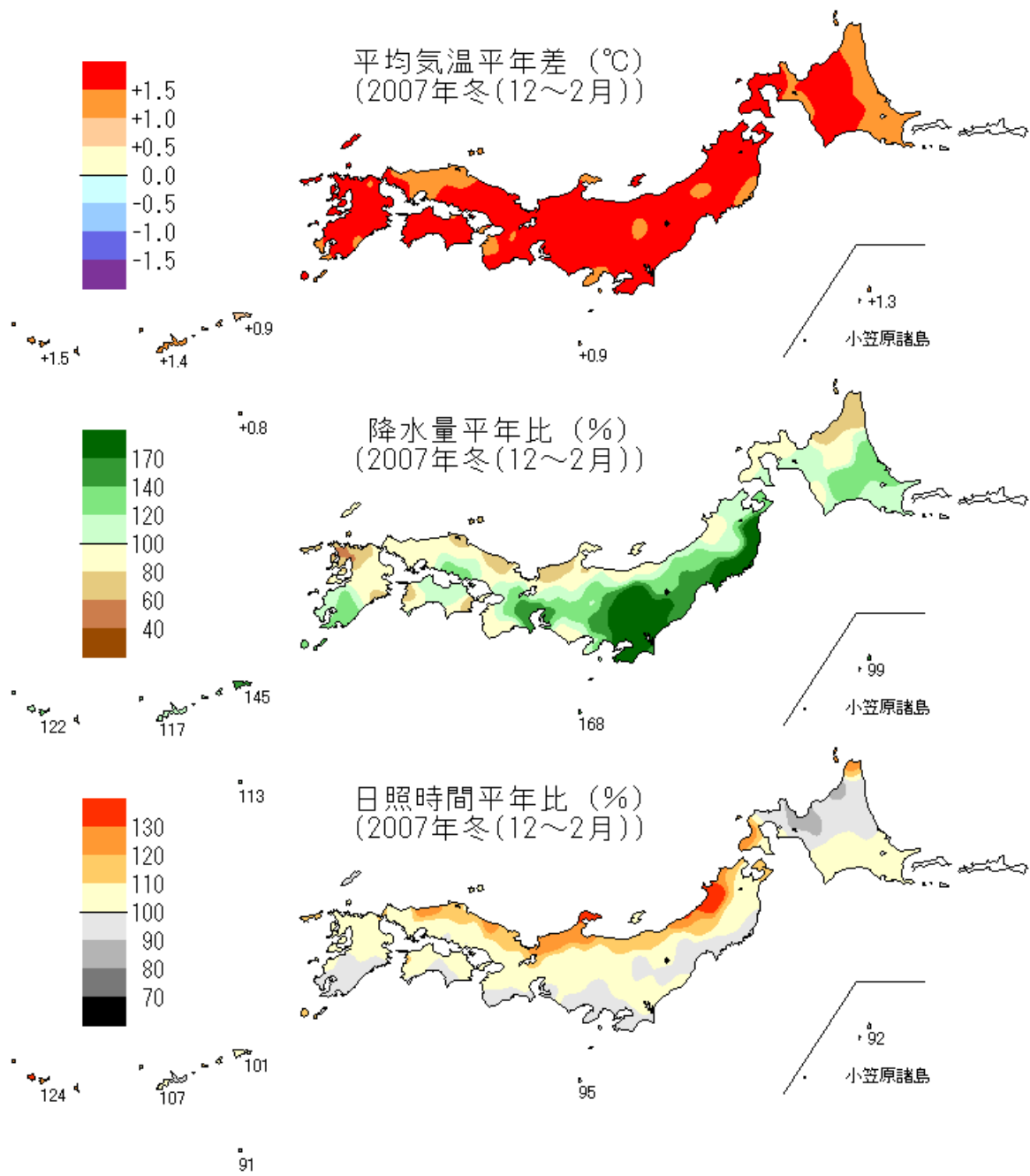
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1971～2000年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

平年差（比）図（2007年冬（12～2月））（等値線図）



注）陰影の部分は、平年値より低い（少ない）地域を示す。

平年差（比）図（2007年冬（12～2月））



3 月別の天候経過

12月：上旬に一時寒気が入ったものの、その後は暖かな日が続き、月平均気温は全国で高温となった。また、本州の南岸を低気圧が通ることが多く、全国的に曇りや雨の日が多かった。このため、ほぼ全国的に多雨・寡照となった。25日から27日にかけては、低気圧が発達しながら本州南岸から北日本の太平洋岸を通過した影響で、太平洋側を中心に広い範囲で大雨となった。冬型の気圧配置となる日が少なかったことから、日本海側の地方では全国的に降雪量が平年を下回り、特に、北・東日本の日本海側で少なかった。

1月：強い寒気の南下は一時的で、冬型の気圧配置は長続きしなかった。このため、全国的に高温となり、北日本や日本海側の降雪量は記録的に少なかった。また、低気圧や前線が日本の南海上を通過することも多く、日本海側や西日本の降水量は少なく、東日本日本海側は記録的に少なかった。

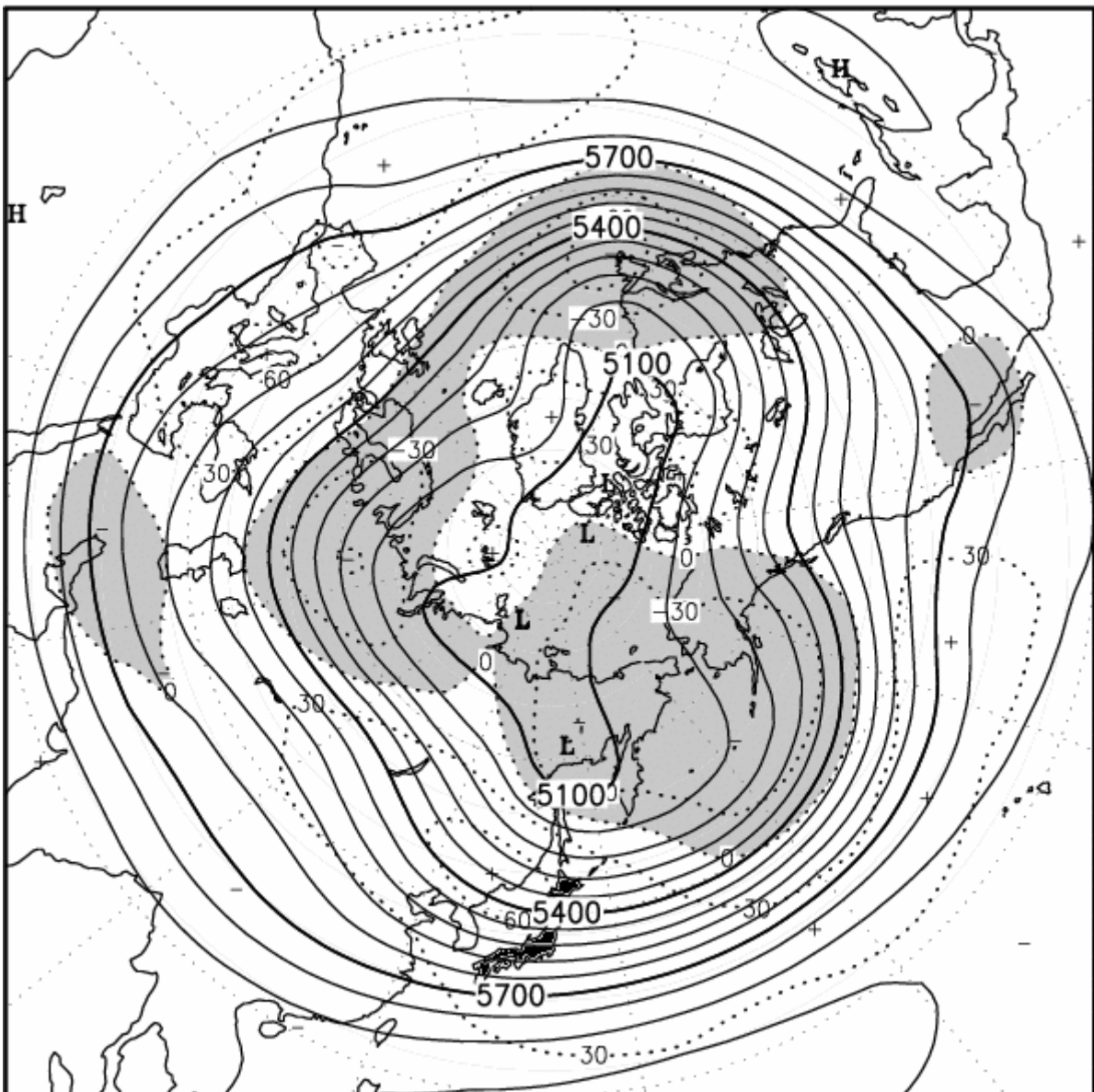
5日に四国の南海上にあった低気圧が、6～7日にかけて東日本から北日本の太平洋側を急速に発達しながら北上し、通過後は一時的に強い冬型の気圧配置となった。このため、西日本から北日本にかけては暴風、高波、大雨、北海道のオホーツク海側や太平洋側東部では大雪など大荒れとなった。

2月：高気圧と低気圧が数日の周期で交互に通過し、冬型の気圧配置は長続きしなかった。移動性高気圧に覆われる日が多く、低気圧通過後も強い寒気の南下はほとんどなかった。このため、全国的に顕著な高温となり、北・東・西日本では平年を2.5℃前後上回った。北・東日本日本海側の降雪量はかなり少なく、東日本日本海側では1961年以降最も少なかったほか、太平洋側の降雪量もかなり少なかった。一方、日照時間はほぼ全国的に多く、東日本日本海側では1946年以降最も多かった。中旬には、低気圧が日本海を発達しながら通過したため、全国的に荒れ模様となり、春一番となった。

4 大気の流れの特徴

500hPa 天気図：北半球高緯度ではグリーンランドからカナダ北部が正偏差となり、東シベリアからアラスカ、カナダ東部から大西洋北部、ヨーロッパ北部から西シベリアは負偏差となった。12月から1月中旬にかけて高緯度に寒気が顕著に蓄積される状態が続き、北半球全体で中緯度への寒気の南下は弱かった。

極東では、バイカル湖の西から日本付近にかけては正偏差が広がっており、アリューシャン列島付近は日付変更線の東側を中心に負偏差が見られる。このことは、地上のアリューシャン低気圧が平年に比べ東側で発達し、日本付近の冬型の気圧配置が弱く、寒気が南下しにくかったことと一致している。

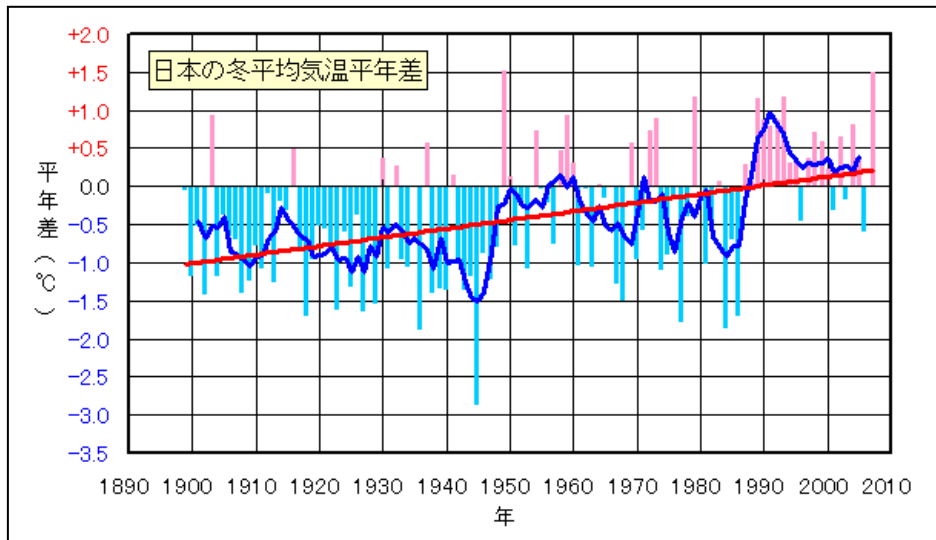


2007年冬（12～2月）の500hPa高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差

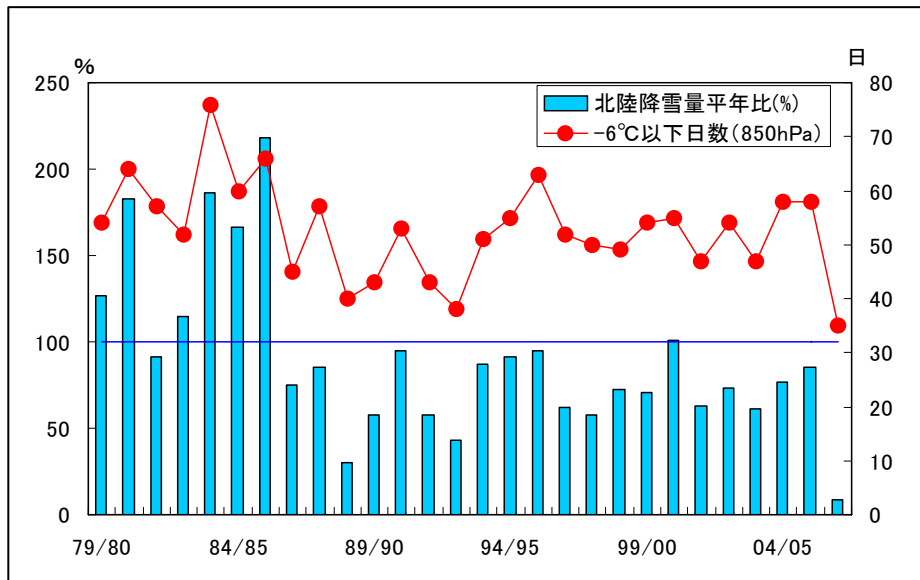
平成 18/19 年冬 (12~2 月) の記録的な高温と少雪の要因について (速報)

■記録的な高温と少雪

昨年 12 月から 2 月にかけて平年に比べて冬型の気圧配置が現れにくく、寒気の南下が極端に少なかった。このため、全国的に気温の高い日が続き、日本の冬平均気温（都市化の影響の少ない全国 17 地点平均）は統計を開始した 1898/1899 年以後で第 1 位タイ（これまでの第 1 位は 1948/1949 年）の高い記録となった。また、日本海側の降雪量も記録的に少なく、特に北陸地方で顕著であった（第 1 図と第 2 図）。



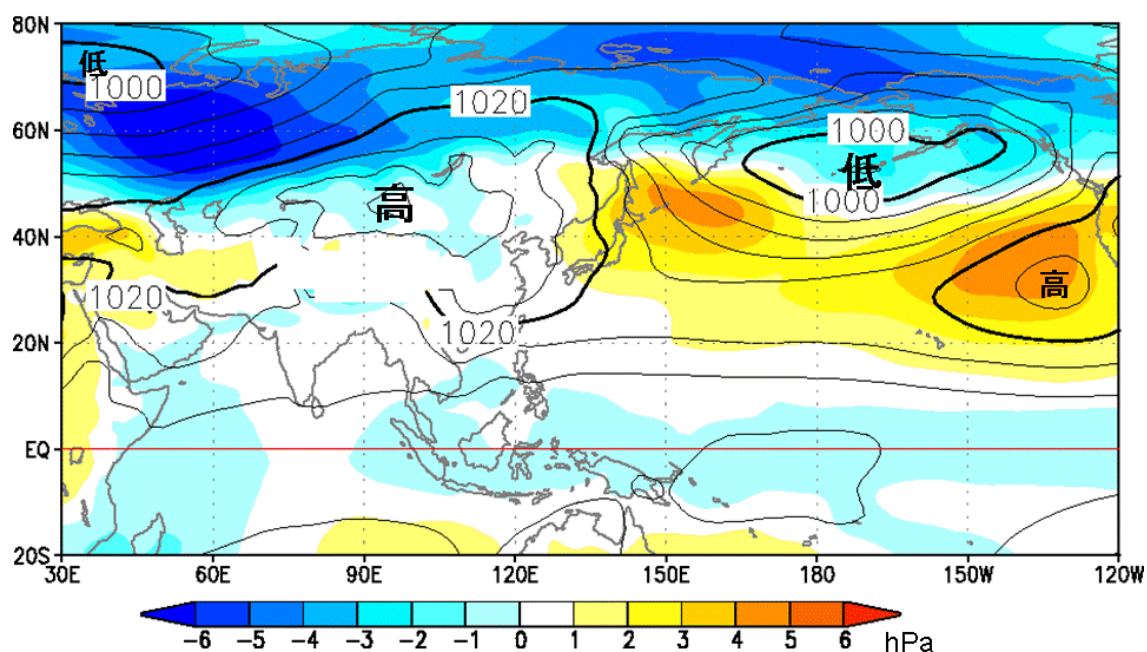
第 1 図 日本の冬平均 (12~2 月) 気温 (都市化の影響が少ない全国 17 地点平均) の経年変化。1898/1899~2006/2007 年冬。棒グラフ：各年の平均気温の平年値との差。太線 (青)：平年差の 5 年移動平均、直線 (赤)：長期的な変化傾向。平年値は、1971~2000 年の 30 年平均。



第 2 図 輪島付近の上空約 1,500m 付近の気温が -6°C 以下となった日数 (折れ線グラフ：右目盛) と北陸の降雪量平年比 (棒グラフ：左目盛) の時系列 (1979/1980~2006/2007 年冬)。上空の気温は長期再解析(JRA-25)のデータを使用した。上空約 1,500m 付近で -6°C 以下の寒気は平地で雪になる目安となる。今冬は、 -6°C 以下の日数が最も少なく、寒気の南下が極端に少なかったことを示している。

■要因

- この記録的な高温と少雪の主な要因は、「冬前半を中心に、北極付近に寒気が蓄積する大気の流れ（北極振動の寒気蓄積型）が卓越し、シベリア高気圧の発達が弱く、寒気の南下が少なかったこと」、「アリューシャン低気圧の中心が平年より東に位置したために、日本付近の気圧の傾きが小さく、その結果として季節風が弱かったこと」の2つが重なったことである（第3図）。
- アリューシャン低気圧の東偏は、エルニーニョ現象発生時によく見られる気圧パターンであるため、これにはエルニーニョ現象が影響していたと考えられる。ただし、今冬の場合、その東偏のメカニズムは、エルニーニョ現象時によく知られているメカニズムとは異なるものであった。このため、エルニーニョ現象が今冬の天候に与えた影響を適切に評価するためには、さらなる調査・研究が必要である。
- 暖冬の背景として地球温暖化による気温上昇の寄与も一部含まれるが、日本の記録的な暖冬の主な要因は、大気や海洋の年々の変動によるものである。

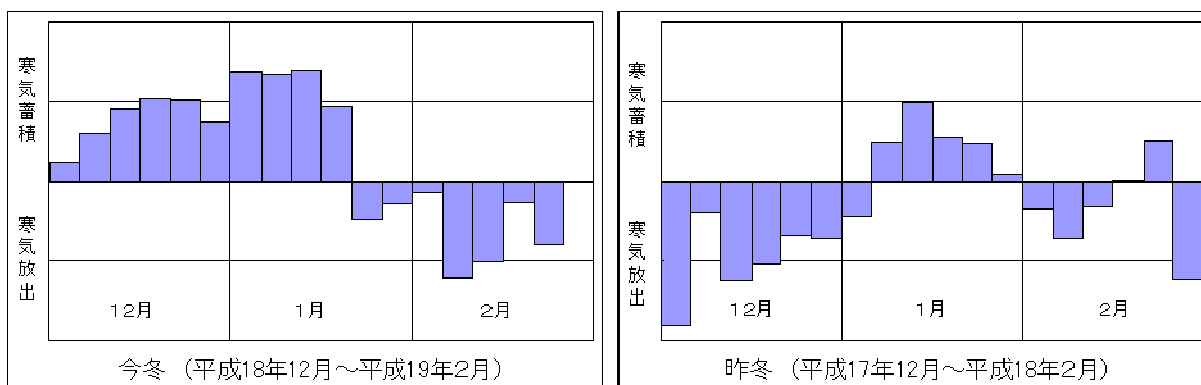


第3図 2006年12月～2007年2月の海面気圧（等値線）と平年偏差（色）。等値線間隔は4 hPa。図中のユーラシア大陸の高気圧がシベリア高気圧、北太平洋の低気圧がアリューシャン低気圧である。

■主な要因の解説

(1) 北極振動

冬前半は北極付近に寒気が蓄積する大気の流れ（北極振動の寒気蓄積型）が卓越したため、ユーラシア大陸北部から中国、日本付近にかけて気温がかなり高くなった。北極付近の寒気は極付近での蓄積と中緯度への放出を交互に繰り返しており、この現象は「北極振動」と呼ばれている。第4図は今冬と昨冬の北極振動の状況を指数化したものである。今冬は12月から1月中旬にかけて北極付近で寒気蓄積が持続し、大雪・低温となった昨冬は12月を中心に寒気放出となった。なお、これまで日本の冬平均気温が最も高かった1949年には、北極振動に伴う極付近への寒気蓄積の状態が冬を通して続いたことがわかっている。



第4図 北極振動指数による寒気放出・蓄積の推移（今冬と昨冬の比較）

(2) アリューシャン低気圧の東偏とエルニーニョ現象

エルニーニョ現象時にはアリューシャン低気圧が平年より東に位置することが、統計的な事実として知られており、今冬もこの東偏が観測された。このため、この東偏には、エルニーニョ現象が影響していたと考えられるが、今冬の場合、そのメカニズムはエルニーニョ現象時によく知られているメカニズム*とは異なるものであった。

今冬は、アラビア海から中国南部、日本の東海上を経てベーリング海にかけて東西に連なる大気の循環の大規模な波列（上空の高・低気圧性の循環の列。定常ロスビー波列と呼ばれている。）が明瞭で、これによりアリューシャン低気圧の中心が平年より東に位置したと考えられる。この波列の生成には、インドネシア付近で平年より不活発であった対流活動など、やはりエルニーニョ現象に伴う熱帯域の対流活動の状態が関係していたと考えられるが、その生成メカニズムについては、数値シミュレーション等による今後の調査が必要である。

(3) さらなる要因の解明に向けて

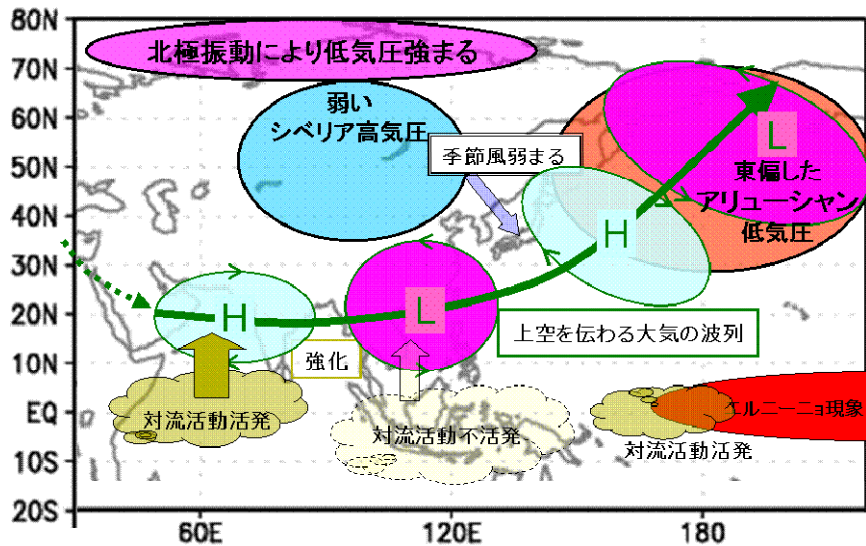
(1) と (2) で述べた要因を模式図としてまとめたものを第5図に示す。

今冬の異常高温と少雪の要因に関連して、エルニーニョ現象の大気への影響には、東西に連なる大気循環の大規模な波列の関与など、従来から考えられているメカニズム（第6図）とは異なる点が見られた。今冬の日本の天候に与えた大気や海洋の変動特性を適切に

* エルニーニョ現象時のアリューシャン低気圧の東偏のメカニズムは、一般には以下のとおり説明されている。すなわち、エルニーニョ現象によって海面水温が高くなる中・東部太平洋熱帯域で対流活動が活発となり、これにより形成された北太平洋域における大気の大規模な波列の影響で、アリューシャン低気圧が平年より東偏する（模式図を第6図に示す）。

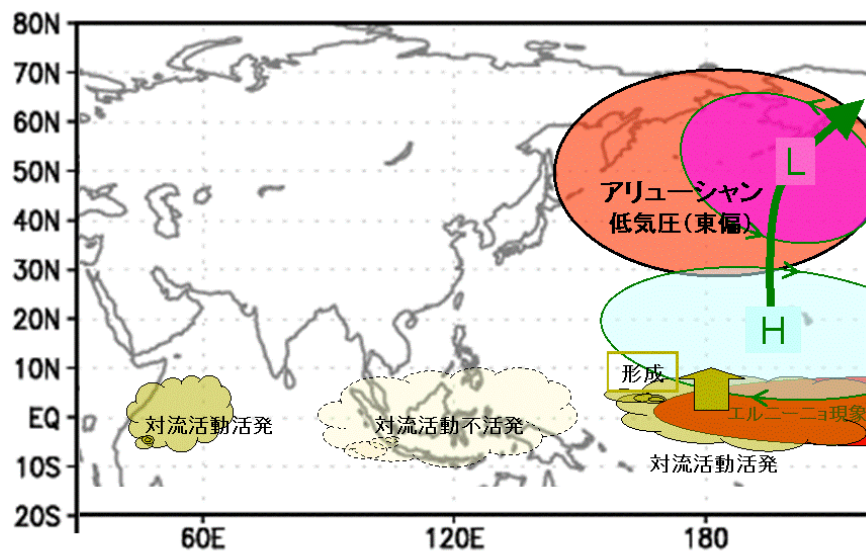
評価するためには、エルニーニョ現象に伴う全球大気の昇温の定量的な影響評価、北極振動とエルニーニョ現象の相互作用等も含めて、メカニズムのさらなる調査・研究が必要と考える。

気象庁では、今冬のような異常気象が発生した場合に、その発生要因等に関するより科学的に深い見解を、学識経験者の助言を得て適時に発表できるよう、所要の準備を進めているところである。大学・研究機関との連携をこれまで以上に深め、異常気象に関する情報の改善に努める計画である。



※ (H)と(L)はそれぞれ上空の高気圧性と低気圧性の循環偏差を示す

第5図 2006/2007年の日本の暖冬をもたらした要因の模式図。

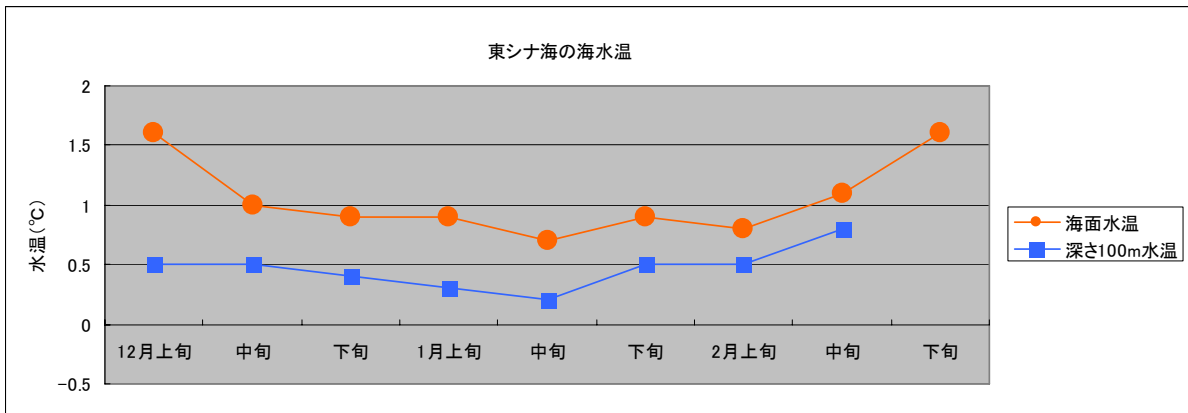
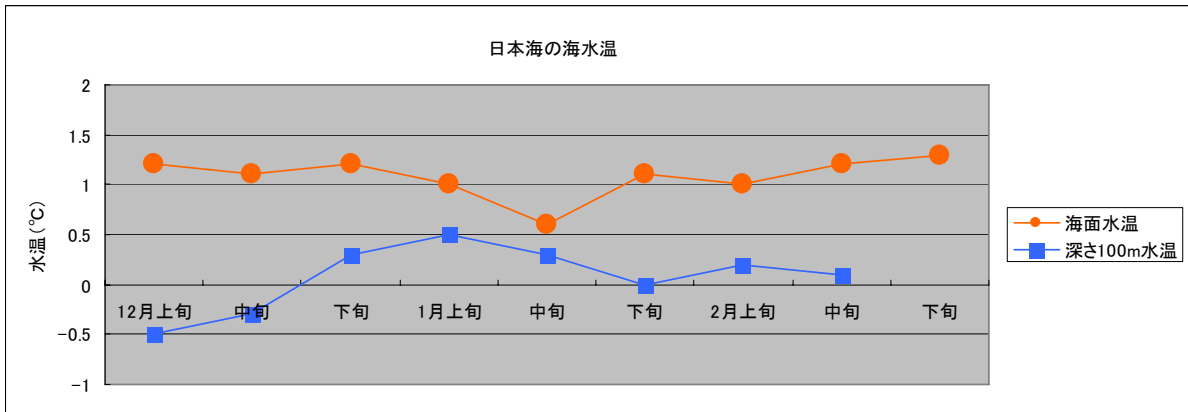


※ (H)と(L)はそれぞれ上空の高気圧性と低気圧性の循環偏差を示す

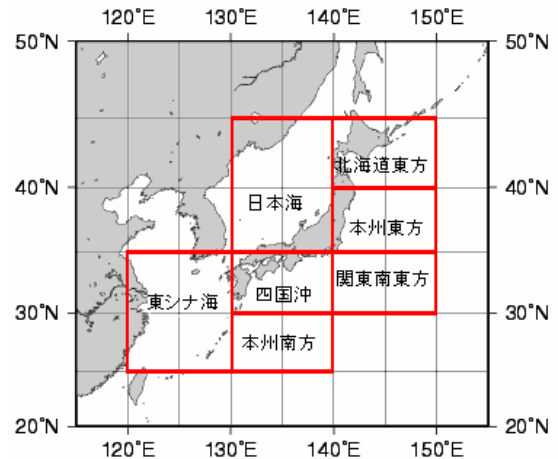
第6図 一般的なエルニーニョ現象時のアリューシャン低気圧東偏メカニズムの模式図

記録的な暖冬と日本近海の海面水温について

- 昨年12月から今年2月にかけて、日本近海の海面水温は平年より高くなったところが多く、特に日本海と東シナ海では平均して平年より1℃程度高かった。
- 直接の原因として、大陸からの寒気の吹き出しが弱く、日本近海の海面が例年のように冷やされなかったことが挙げられる。
- 深さ100mの水温と比較すると、海面水温の平年差が大きかったことから、海面水温が平年より高かった要因として、海洋自体の変動に起因するものもあるが、上で述べたような大気の影響が大きいと考えられる。なお、各要因の定量的な評価は、今後も継続して実施する。



第1図：日本海と東シナ海の旬平均海面水温平年差と深さ100mの水温平年差の時系列（平年値は1971年から2000年の平均値）。赤が海面水温、青が深さ100mの水温を表す。右図は日本近海の監視海域を表す。



5 全国気候表 2007年冬(12~2月)

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比) 階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級			降雪深さ(平年値) 階級		最深積雪(平年値) 階級			
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)	(cm)	(cm)		
札幌	-1.3	(+1.6)	+*	341.5	(110)	+	49	238.8	(81)	-*	423	(474)	-	78	(100)	-
稚内	-2.9	(+1.1)	+	208.5	(79)	-	46	189.3	(122)	+	374	(491)	-*	49	(80)	-
北見枝幸	-4.1	(+1.2)	+	165.0	(63)	-*	44	260.5	(98)	○	416	(504)	-*	82	(105)	-
旭川	-4.6	(+1.8)	+*	191.5	(85)	-	48	235.4	(98)	○	430	(496)	-	56	(92)	-*
留萌	-1.9	(+1.6)	+*	203.5	(66)	-*	51	149.3	(94)	○	365	(529)	-*	40	(92)	-*
羽幌	-2.4	(+1.5)	+*	262.0	(79)	-*	62	156.9	(86)	-	337	(534)	-*	63	(104)	-*
岩見沢	-2.9	(+1.7)	+*	324.0	(103)	○	66	253.8	(89)	-	409	(591)	-*	97	(121)	-*
倶知安	-3.3	(+1.6)	+	480.0	(92)	-	72	147.7	(92)	○	598	(814)	-*	139	(189)	-*
小樽	-1.3	(+1.2)	+	338.5	(91)	○	61	181.9	(85)	-	363	(528)	-*	80	(116)	-*
寿都	-0.1	(+1.5)	+*	268.0	(90)	-	58	109.4	(98)	○	270]	(415)		28]	(72)	
											(統計月数: 2)			(統計月数: 1)		
網走	-3.6	(+1.4)	+*	177.0	(121)	+	33	375.7	(104)	+	303	(253)	+*	72	(51)	+
紋別	-3.9	(+1.0)	+	173.0	(139)	+	25	295.1	(94)	○	281	(371)	-*	67	(57)	○
雄武	-4.6	(+1.1)	+	165.5	(118)	+	28	300.0	(95)	○	254	(373)	-*	76	(67)	○
釧路	-3.1	(+1.1)	+	134.5	(113)	○	13	544.5	(104)	+	69	(121)	-*	30	(36)	○
根室	-2.1	(+1.0)	+	124.5	(103)	○	23	501.2	(109)	+	125	(160)	○	20	(31)	○
帯広	-4.2	(+1.9)	+*	153.5	(137)	+	16	570.0	(109)	+	119	(144)	○	41	(60)	-
広尾	-2.0	(+1.6)	+*	246.0	(119)	+	23	487.9	(104)	+	135	(327)	-*	62	(84)	-
室蘭	0.3	(+1.5)	+*	180.0	(111)	+	31	295.3	(106)	+	81	(170)	-*	16	(25)	-
苫小牧	-1.6	(+1.3)	+	127.5	(108)	○	23	401.5	(97)	○	66	(96)	-	13	(28)	-*
浦河	-0.3	(+1.5)	+*	111.5	(90)	○	23	453.4	(109)	+*	64	(132)	-*	17	(22)	○
函館	0.2	(+2.1)	+*	241.0	(114)	+	33	337.6	(107)	+	157	(309)	-*	18	(44)	-*
江差	1.8	(+1.9)	+*	208.5	(84)	-	40	160.7	(123)	+	84	(298)	-*	8	(36)	-*
青森	1.4	(+1.8)	+*	467.0	(114)	+	53	199.4	(108)	+	263	(626)	-*	58	(113)	-*
深浦	2.4	(+1.8)	+*	339.0	(113)	+	45	137.4	(120)	+	88	(315)	-*	21	(44)	-
むつ	1.1	(+1.7)	+*	346.0	(126)	+	35	277.4	(114)	+	114	(440)	-*	19	(68)	-*
八戸	1.6	(+1.7)	+*	310.0	(219)	+*	18	398.4	(101)	○	34	(249)	-*	4	(31)	-*
秋田	3.0	(+2.0)	+*	315.0	(85)	-	41	219.6	(139)	+*	72	(342)	-*	8	(41)	-*

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
盛岡	0.8	(+1.8)	++	196.5	(116)	+	23	387.8	(108)	+	106	(274)	-*	30	(35)	○
大船渡	3.2	(+1.5)	++	336.5	(243)	++	17	427.0	(99)	○	-	(61)	-*	-	(12)	-*
宮古	2.5	(+1.3)	++	518.0	(303)	++	10	440.9	(94)	-	6	(134)	-*	2	(30)	-*
仙台	4.2	(+1.7)	++	177.0	(162)	++	16	431.4	(96)	-	4	(74)	-*	4	(17)	-*
石巻	3.3	(+1.7)	++	178.0	(175)	++	15	478.4	(99)	-	1	(44)	-*	1	(16)	-*
山形	2.2	(+1.7)	++	314.0	(141)	++	37	268.7	(98)	○	126	(403)	-*	25	(50)	-*
新庄	1.1	(+1.4)	++	664.0	(124)	+	57	159.9	(117)	+	307	(694)	-*	50	(125)	-*
酒田	4.3	(+1.9)	++	545.0	(116)	+	58	189.3	(131)	++	32	(321)	-*	3	(36)	-*
福島	4.1	(+1.7)	++	177.5	(140)	+	16	405.3	(99)	○	33	(195)	-*	7	(25)	-*
若松	2.0	(+1.7)	++	291.0	(124)	+	31	263.9	(106)	+	154	(447)	-*	30	(57)	-*
白河	3.0	(+1.9)	++	182.5	(185)	++	12	459.2	(98)	○	8	(135)	-*	2	(21)	-*
小名浜	6.4	(+2.0)	++	222.0	(155)	++	14	556.9	(102)	○	0	(12)	-*	-	(5)	-*
水戸	5.7	(+2.0)	++	292.0	(207)	++	15	524.6	(100)	○	-	(13)	-*	-	(7)	-*
館野(つくば)	5.6	(+2.3)	++	256.5	(202)	++	16	557.6	(107)	+	-	(12)	-*	-	(8)	-*
宇都宮	5.4	(+2.3)	++	210.0	(210)	++	13	598.8	(102)	○	-	(22)	-*	-	(10)	-*
日光	-1.8	(+1.3)	++	283.0	(194)	++	17	493.0	(96)	-	120	(352)	-*	28	(40)	-
前橋	5.9	(+1.7)	++	145.5	(216)	+	10	615.4	(105)	+	-	(22)	-*	-	(9)	-*
熊谷	6.6	(+2.0)	++	198.5	(224)	++	10	610.8	(103)	○	-	(15)	-*	-	(8)	-*
秩父	4.0	(+1.7)	++	165.5	(183)	+	7	574.6	(101)	○	-	(46)	-*	-	(16)	-*
東京	8.6	(+1.9)	++	299.5	(200)	++	17	510.6	(100)	○	-	(12)	-*	-	(7)	-*
大島	9.3	(+1.4)	++	398.0	(106)	○	25	413.4	(95)	-	-	(3)	-	-	(2)	-*
三宅島	11.8	(+1.4)	++	566.5	(125)	+	29	296.6	(81)	-*	0	(0)	-	-	(0)	-
八丈島	12.1	(+0.9)	+	911.5	(168)	++	50	266.0	(95)	○	0	(0)	-	-	(0)	-
父島	20.0	(+1.3)	++	232.0	(99)	○	24	362.3	(92)	-	-	(-)	-	-	(-)	-

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
千葉	8.3	(+2.0)	++	319.5	(206)	++	20	501.4	(98)	○	0	(7)	-	-	(5)	-*
銚子	9.0	(+1.8)	++	391.5	(163)	++	27	477.5	(98)	○	0	(1)	○	-	(1)	-
館山	8.6	(+1.6)	++	441.0	(185)	++	24	438.4	(90)	-		()		()		
勝浦	8.8	(+1.5)	++	463.5	(170)	+	25	441.8	(91)	-	-	(2)	○	-	(1)	-
横浜	8.3	(+1.8)	++	301.5	(174)	++	19	499.1	(98)	○	-	(12)	-*	-	(8)	-*
長野	2.3	(+2.0)	++	154.0	(117)	+	20	416.3	(108)	+	67	(243)	-*	22	(29)	-
松本	1.9	(+1.5)	++	130.5	(133)	+	17	502.4	(100)	○	53	(64)	○	32	(24)	+
諏訪	1.5	(+1.9)	++	146.0	(115)	+	17	532.1	(102)	○	30	(88)	-*	21	(20)	○
軽井沢	-1.1	(+1.6)	++	145.0	(162)	+	14	511.7	(102)	○	46	(91)	-*	24	(29)	○
飯田	3.3	(+1.5)	++	221.5	(126)	+	21	504.4	(104)	○	25	(44)	-	22	(17)	○
甲府	5.7	(+2.1)	++	149.5	(144)	+	14	574.1	(99)	○	-	(29)	-*	0	(14)	-*
河口湖	2.0	(+1.7)	++	235.5	(166)	+	14	551.0	(97)	○	23	(76)	-*	12	(33)	-*
静岡	9.1	(+1.7)	++	230.5	(98)	○	17	549.5	(96)	-	0	(0)		-	(0)	
浜松	8.5	(+1.8)	++	173.0	(93)	○	20	570.9	(100)	○		()		()		
御前崎	9.3	(+1.9)	++	219.0	(89)	○	21	533.9	(93)	-	0	(0)		-	(0)	
三島	7.9	(+1.5)	++	235.5	(107)	○	23	481.5	(94)	○		()		()		
石廊崎	10.0	(+1.1)	++	218.5	(97)	○	22	486.8	(94)	-		()		()		
網代	8.8	(+1.1)	++	275.5	(143)	+	20	385.1	(89)	-		()		()		
名古屋	7.1	(+1.9)	++	209.0	(144)	+	21	509.0	(101)	○	1	(13)	-*	1	(6)	-*
伊良湖	8.2	(+1.8)	++	241.5	(145)	+	21	524.1	(97)	○		()		()		
岐阜	7.0	(+1.8)	++	215.5	(111)	○	23	487.2	(100)	○	11	(49)	-	10	(15)	○
高山	1.4	(+2.1)	++	267.0	(99)	○	29	313.9	(106)	○	136	(422)	-*	47	(52)	○
津	7.8	(+2.0)	++	211.5	(154)	+	19	488.8	(100)	○	0	(5)	-*	0	(3)	-*
上野	5.4	(+1.7)	++	220.0	(161)	+	27	375.6	(102)	○		()		()		
尾鷲	8.5	(+1.5)	++	292.5	(90)	○	22	513.5	(98)	○	0	(1)	○	-	(0)	
四日市	6.3	(+1.5)	++	250.0	(167)	++	25	456.8	(100)	○		()		()		

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
新 潟 相 川 高 田	5.4	(+2.0)	+	502.5	(98)	○	49	224.0	(119)	+	5	(228)	-	2	(38)	-
	6.3	(+1.7)	+	330.0	(88)	-	43	191.3	(107)	○	-	(141)	-	0	(20)	-
	4.8	(+1.7)	+	925.0	(83)	-	61	254.2	(116)	+	111	(618)	-	19	(137)	-
富 山 伏 木	5.6	(+2.1)	+	502.5	(75)	-	51	275.2	(123)	+	61	(384)	-	20	(69)	-
	5.4	(+1.8)	+	586.0	(88)	-	53	264.8	(128)	+	55	(353)	-	17	(64)	-
金 沢 輪 島	6.1	(+1.5)	+	538.0	(73)	-	53	272.0	(130)	+	11	(319)	-	3	(51)	-
	5.2	(+1.4)	+	514.5	(82)	-	47	212.0	(139)	+	10	(209)	-	3	(34)	-
福 井 敦 賀	5.6	(+1.6)	+	487.0	(66)	-	51	282.8	(130)	+	24	(314)	-	10	(60)	-
	7.1	(+1.8)	+	605.5	(80)	-	49	267.7	(124)	+	7]	(260)		3]	(59)	
											(統計月数: 2)		(統計月数: 2)			
彦 根	6.1	(+1.7)	+	274.0	(93)	-	36	373.3	(117)	+	14	(121)	-	7	(28)	-
京 都 舞 鶴	6.9	(+1.5)	+	203.5	(129)	+	25	389.9	(106)	+	1	(14)	-	1	(6)	-
	6.0	(+1.8)	+	362.5	(88)	○	43	261.8	(112)	+	25	(226)	-	10	(37)	-
大 阪	8.4	(+1.7)	+	164.0	(117)	+	22	454.7	(108)	+	0	(3)	-	-	(2)	-
神 戸 豊 岡 姫 路 洲 本	8.5	(+1.9)	+	150.5	(113)	○	22	466.4	(108)	+	0	(2)	-	-	(2)	-
	5.6	(+1.8)	+	407.0	(66)	-	48	257.6	(116)	+	52	(337)	-	18	(59)	-
	6.7	(+1.9)	+	115.5	(96)	○	19	450.1	(104)	+	()			()		
	7.4	(+1.4)	+	136.0	(85)	○	23	434.5	(101)	○	()			()		
奈 良	6.0	(+1.4)	+	200.0	(135)	+	25	372.9	(103)	○	0	(7)	-	-	(4)	-
和 歌 山 潮 岬	8.1	(+1.3)	+	134.5	(93)	○	18	424.8	(101)	○	0	(2)	-	-	(1)	-
	10.3	(+1.6)	+	239.0	(81)	○	25	531.8	(96)	○	0	(0)		-	(0)	
岡 山 津 山	7.4	(+1.8)	+	133.0	(127)	+	21	440.6	(99)	○	0	(3)	-	0	(2)	-
	4.6	(+1.7)	+	148.0	(103)	○	23	367.9	(104)	+	23	(49)	-	19	(17)	○

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
広島 呉 福山	7.4	(+1.3)	++	147.0	(99)	○	16	440.5	(106)	+	5	(13)	-	5	(6)	○
	8.1	(+1.5)	++	128.5	(92)	○	15	435.2	(104)	○		()			()	
	6.6	(+1.7)	++	136.5	(124)	+	17	426.0	(100)	○		()			()	
松江 西郷 浜田	6.4	(+1.3)	++	321.5	(79)	-	45	273.9	(115)	++	21	(102)	-*	9	(23)	-
	6.5	(+1.5)	++	323.0	(76)	-*	40	263.7	(104)	○	9	(122)	-*	5	(28)	-*
	7.9	(+1.2)	+	255.0	(84)	-	32	286.1	(129)	++	1	(18)	-*	1	(9)	-*
鳥取 米子 境	6.3	(+1.5)	++	367.5	(70)	-*	45	297.1	(127)	++	33	(240)	-*	17	(48)	-
	6.6	(+1.4)	++	317.0	(80)	-	42	286.6	(116)	+	46	(154)	-*	23	(28)	○
	6.9	(+1.5)	++	380.0	(80)	-	44	231.9	(103)	+	28	(114)	-*	13	(26)	-
徳島	8.5	(+1.7)	++	96.5	(69)	○	16	477.1	(103)	○	0	(5)	-*	-	(3)	-*
高松 多度津	7.8	(+1.8)	++	144.0	(120)	+	21	454.9	(104)	○	0	(3)	-	-	(2)	-*
	8.0	(+1.4)	++	135.5	(117)	+	19	441.9	(103)	○		()			()	
松山 宇和島	8.3	(+1.7)	++	162.5	(107)	○	24	424.5	(108)	+	0	(3)	-	0	(2)	-
	9.0	(+1.6)	++	131.0	(70)	-*	21	388.2	(111)	+		()			()	
高知 宿毛 清水 室戸岬	9.4	(+2.3)	++	224.0	(103)	○	17	545.3	(99)	○	1	(1)	+	1	(1)	+
	9.6	(+1.8)	++	167.0	(82)	○	21	465.5	(103)	○		()			()	
	11.5	(+2.0)	++	329.0	(116)	○	19	499.8	(94)	-	0	(1)	○	-	(0)	
10.0	(+1.7)	++	255.0	(95)	○	22	488.3	(96)	○	0	(0)		-	(0)		
山口 下関 萩	6.8	(+1.8)	++	172.5	(82)	○	26	376.4	(101)	○	4	(28)	-	4	(12)	-
	9.2	(+1.8)	++	185.0	(91)	○	22	357.5	(112)	+	5	(5)	○	5	(3)	+
	7.6	(+1.1)	+	201.5	(80)	○	29	271.6	(106)	+		()			()	
福岡 飯塚	9.0	(+1.7)	++	150.0	(76)	-	23	355.2	(108)	+	0	(5)	-	1	(3)	○
	7.2	(+1.4)	++	162.5	(77)	-	24	347.2	(105)	○		()			()	

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級							
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)						
大分	8.6	(+1.8)	+	+	117.0	(82)	○	14	453.8	(103)	+	0	(2)	-	-	(2)	-
日田	6.4	(+1.7)	+	+	174.0	(88)	○	26	342.9	(100)	○		()			()	
長崎	9.4	(+1.6)	+	+	185.0	(86)	○	22	364.4	(107)	+	0	(3)	-*	0	(2)	-
巖原	8.1	(+1.5)	+	+	195.5	(87)	○	21	432.8	(96)	○	0	(0)		0	(0)	
平戸	9.2	(+1.7)	+	+	172.5	(69)	-	19	339.2	(110)	+		()			()	
佐世保	9.2	(+2.0)	+	+	106.0	(50)	-*	19	371.9	(105)	+		()			()	
福江	9.7	(+1.6)	+	+	196.0	(65)	-	24	318.5	(116)	+	0	(5)	-*	0	(3)	-*
佐賀	8.1	(+1.8)	+	+	98.5	(56)	-*	16	414.6	(107)	+	0	(8)	-*	0	(4)	-*
熊本	8.5	(+2.1)	+	+	157.0	(84)	○	19	421.9	(103)	○	0	(2)	-	-	(2)	-*
阿蘇山	1.5	(+1.9)	+	+	243.0	(81)	○	24	324.0	(105)	○	36	(117)	-*	11	(22)	-
人吉	6.7	(+1.6)	+	+	287.5	(123)	+	26	357.6	(94)	-		()			()	
牛深	10.7	(+1.5)	+	+	186.5	(72)	-	23	385.3	(111)	+		()			()	
宮崎	9.8	(+1.4)	+	+	255.5	(120)	+	22	521.9	(98)	○	-	(0)		-	(0)	
延岡	9.0	(+1.7)	+	+	145.5	(79)	○	16	525.0	(96)	-		()			()	
都城	8.4	(+1.8)	+	+	276.5	(132)	+	24	475.5	(95)	-		()			()	
油津	11.1	(+1.7)	+	+	338.5	(129)	+	22	471.9	(95)	○		()			()	
鹿児島	10.9	(+1.6)	+	+	289.0	(115)	+	29	407.0	(98)	○	0	(5)	-	-	(3)	-*
阿久根	10.0	(+1.6)	+	+	278.0	(112)	+	30	371.5	(105)	○		()			()	
枕崎	10.7	(+1.3)	+	+	351.5	(117)	+	35	348.5	(96)	-		()			()	
屋久島	13.8	(+1.6)	+	+	957.5	(126)	+	42	280.7	(120)	+	0	(0)		-	(0)	
種子島	13.5	(+1.0)	+	+	413.0	(141)	+	30	346.4	(96)	○	-	(0)		-	(0)	
名瀬	16.2	(+0.9)	+	+	737.0	(145)	+	42	193.1	(101)	○	-	(0)		-	(0)	
沖永良部	17.7	(+0.9)	+	+	384.5	(114)	○	30	293.2	(110)	+	-	(0)		-	(-)	

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比)階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級				
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)			
那覇	18.6	(+1.4)	+*	395.0	(117)	+	27	311.0	(107)	+	-	(0)	-	(-)
名護	17.7	(+1.0)	+*	366.5	(105)	○	29	295.6	(98)	○		()		()
久米島	18.4	(+1.2)	+*	432.0	(102)	+	31	260.6	(108)	+		()		()
宮古島	19.7	(+1.4)	+*	340.0	(80)	-	35	314.6	(123)	+*	-	(-)	-	(-)
石垣島	20.4	(+1.5)	+*	486.0	(122)	+	32	314.2	(124)	+*	-	(-)	-	(-)
西表島	19.9	(+1.4)	+*	558.0	(107)	○	33	260.1	(133)	+		()		()
与那国島	19.9	(+1.2)	+*	574.0	(103)	○	38	206.8	(125)	+	-	(-)	-	(-)
南大東島	18.9	(+0.8)	+	350.0	(113)	○	30	310.2	(91)	○	-	(-)	-	(-)

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に「)」や「]」がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。「)付きの値(準完全値)」は通常のものと同様に扱うことができるが「]付きの値(資料不足値)」については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

6 順位更新表 2007年冬（12～2月）

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「＝」で表す。

3か月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	江差	1.8 =	+1.9	1.8 (1949)	1942	-0.1
	大船渡	3.2 =	+1.5	3.2 (1979)	1964	1.7
	若松	2.0	+1.7	1.7 (1989)	1954	0.3
	青森	1.4 =	+1.8	1.4 (1949)	1887	-0.4
	八戸	1.6 =	+1.7	1.6 (2004)	1938	-0.1
	秋田	3.0	+2.0	2.8 (1949)	1887	1.0
	酒田	4.3	+1.9	4.2 (1949)	1938	2.4
	仙台	4.2	+1.7	4.1 (1979)	1927	2.5
	小名浜	6.4	+2.0	5.8 (1989)	1911	4.4
	相川	6.3	+1.7	6.0 (1949)	1912	4.6
	新潟	5.4	+2.0	5.3 (1949)	1887	3.4
	金沢	6.1	+1.5	6.0 (1979)	1887	4.6
	富山	5.6	+2.1	5.5 (1979)	1940	3.5
	宇都宮	5.4	+2.3	4.5 (2002)	1892	3.1
	高山	1.4 =	+2.1	1.4 (1949)	1900	-0.7
	前橋	5.9	+1.7	5.8 (1979)	1898	4.2
	熊谷	6.6	+2.0	6.0 (2004)	1898	4.6
	水戸	5.7	+2.0	5.1 (1949)	1898	3.7
	敦賀	7.1	+1.8	7.0 (1979)	1899	5.3
	岐阜	7.0	+1.8	6.9 (1979)	1884	5.2
	名古屋	7.1	+1.9	6.7 (1979)	1892	5.2
	甲府	5.7	+2.1	5.1 (1993)	1896	3.6
	河口湖	2.0	+1.7	1.8 (1949)	1934	0.3
	秩父	4.0	+1.7	3.7 (1949)	1927	2.3
	館野	5.6	+2.3	4.7 (1993)	1922	3.3
	銚子	9.0	+1.8	8.9 (1979)	1888	7.2
	上野	5.4	+1.7	5.1 (1993)	1938	3.7
	津	7.8	+2.0	7.1 (1993)	1890	5.8
	伊良湖	8.2	+1.8	7.9 (1949)	1948	6.4
	浜松	8.5	+1.8	8.4 (1979)	1887	6.7
	御前崎	9.3	+1.9	9.0 (1979)	1933	7.4
	静岡	9.1	+1.7	8.8 (1972)	1941	7.4
	三島	7.9 =	+1.5	7.9 (1993)	1932	6.4
	東京	8.6	+1.9	8.0 (2004)	1877	6.7
	尾鷲	8.5	+1.5	8.2 (1993)	1941	7.0
	横浜	8.3	+1.8	7.8 (2004)	1898	6.5
	館山	8.6	+1.6	8.3 (1979)	1969	7.0
	大島	9.3	+1.4	9.0 (1993)	1940	7.9
	千葉	8.3	+2.0	7.7 (2004)	1967	6.3
	境	6.9	+1.5	6.8 (1979)	1884	5.4
	京都	6.9 =	+1.5	6.9 (1979)	1882	5.4
	彦根	6.1	+1.7	5.7 (1990)	1895	4.4
	下関	9.2	+1.8	8.8 (1999)	1884	7.4
	広島	7.4	+1.3	7.3 (1998)	1880	6.1
	呉	8.1	+1.5	7.8 (1993)	1895	6.6
	福山	6.6	+1.7	6.5 (1949)	1943	4.9
	岡山	7.4	+1.8	6.7 (1998)	1892	5.6
	姫路	6.7	+1.9	6.1 (1979)	1949	4.8
	神戸	8.5	+1.9	7.7 (1979)	1898	6.6

1	大阪	8.4	+1.7	8.2 (1979)	1884	6.7
	和歌山	8.1	+1.3	8.0 (1993)	1880	6.8
	奈良	6.0	+1.4	5.9 (1993)	1954	4.6
	山口	6.8	+1.8	6.6 (1993)	1967	5.0
	厳原	8.1	+1.5	8.0 (1954)	1889	6.6
	平戸	9.2 =	+1.7	9.2 (1954)	1941	7.5
	福岡	9.0	+1.7	8.8 (1989)	1891	7.3
	佐世保	9.2	+2.0	8.8 (1954)	1948	7.2
	佐賀	8.1	+1.8	7.9 (1998)	1891	6.3
	大分	8.6	+1.8	8.1 (1993)	1888	6.8
	長崎	9.4	+1.6	9.2 (1989)	1879	7.8
	熊本	8.5	+2.1	8.1 (1998)	1892	6.4
	延岡	9.0	+1.7	8.9 (1979)	1962	7.3
	屋久島	13.8 =	+1.6	13.8 (1998)	1939	12.2
	福江	9.7	+1.6	9.6 (1989)	1964	8.1
	松山	8.3	+1.7	7.9 (1998)	1891	6.6
	多度津	8.0	+1.4	7.8 (1999)	1894	6.6
	高松	7.8	+1.8	7.4 (1993)	1942	6.0
	宇和島	9.0 =	+1.6	9.0 (1998)	1924	7.4
	高知	9.4	+2.3	8.7 (1969)	1887	7.1
徳島	8.5	+1.7	8.2 (1993)	1893	6.8	
宿毛	9.6	+1.8	9.2 (1998)	1944	7.8	
清水	11.5	+2.0	11.3 (1954)	1942	9.5	
室戸岬	10.0	+1.7	9.9 (1949)	1921	8.3	
西表島	19.9 =	+1.4	19.9 (1998)	1954	18.5	
父島	20.0 =	+1.3	20.0 (1998)	1970	18.7	
2	新庄	1.1	+1.4	1.2 (1993)	1958	-0.3
	深浦	2.4	+1.8	2.7 (1949)	1941	0.6
	むつ	1.1 =	+1.7	1.5 (1949)	1936	-0.6
	盛岡	0.8	+1.8	1.3 (1949)	1925	-1.0
	山形	2.2	+1.7	2.5 (1949)	1892	0.5
	石巻	3.3 =	+1.7	3.7 (1949)	1888	1.6
	福島	4.1	+1.7	4.2 (1949)	1891	2.4
	白河	3.0	+1.9	3.3 (1949)	1941	1.1
	輪島	5.2 =	+1.4	5.5 (1949)	1931	3.8
	伏木	5.4	+1.8	5.6 (1979)	1887	3.6
	長野	2.3	+2.0	2.4 (1949)	1890	0.3
	福井	5.6	+1.6	5.9 (1979)	1898	4.0
	諏訪	1.5	+1.9	1.7 (1949)	1946	-0.4
	軽井沢	-1.1	+1.6	-0.9 (1979)	1942	-2.7
	飯田	3.3	+1.5	3.7 (1949)	1899	1.8
	網代	8.8	+1.1	9.1 (1979)	1939	7.7
	勝浦	8.8	+1.5	9.0 (1949)	1907	7.3
	西郷	6.5 =	+1.5	6.7 (1979)	1940	5.0
	松江	6.4 =	+1.3	6.5 (1979)	1941	5.1
	米子	6.6	+1.4	6.8 (1979)	1941	5.2
	豊岡	5.6	+1.8	5.9 (1949)	1919	3.8
	舞鶴	6.0 =	+1.8	6.1 (1979)	1948	4.2
	津山	4.6 =	+1.7	4.7 (1949)	1944	2.9
	洲本	7.4 =	+1.4	7.5 (1949)	1920	6.0
	飯塚	7.2 =	+1.4	7.4 (1949)	1937	5.8
	阿久根	10.0	+1.6	10.2 (1949)	1940	8.4
	鹿児島	10.9	+1.6	11.2 (1998)	1884	9.3
都城	8.4	+1.8	8.5 (1998)	1944	6.6	
宮崎	9.8 =	+1.4	10.1 (1998)	1887	8.4	
油津	11.1	+1.7	11.2 (1998)	1950	9.4	
与那国島	19.9 =	+1.2	20.2 (2001)	1957	18.7	
石垣島	20.4 =	+1.5	20.5 (1998)	1898	18.9	

3	広尾	-2.0	+1.6	-1.7 (1991)	1959	-3.6
	高田	4.8	+1.7	5.2 (1949)	1924	3.1
	松本	1.9 =	+1.5	2.2 (1979)	1899	0.4
	石廊崎	10.0 =	+1.1	10.5 (1979)	1940	8.9
	三宅島	11.8 =	+1.4	12.3 (1979)	1943	10.4
	浜田	7.9 =	+1.2	8.2 (1979)	1894	6.7
	潮岬	10.3 =	+1.6	10.4 (1979)	1914	8.7
	日田	6.4	+1.7	6.5 (1998)	1944	4.7
	阿蘇山	1.5	+1.9	1.6 (1954)	1934	-0.4
	牛深	10.7	+1.5	11.8 (1979)	1950	9.2
	宮古島	19.7	+1.4	19.8 (2001)	1939	18.3
	那覇	18.6	+1.4	19.0 (1998)	1928	17.2
	名護	17.7	+1.0	18.3 (1998)	1974	16.7

3か月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

3か月間降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	大船渡	336.5	243	353.0 (1972)	1964	138.6
	宮古	518.0	303	540.2 (1903)	1885	170.9
	館野	256.5	202	333.4 (1922)	1922	126.7
3	八戸	310.0	219	342.5 (1972)	1938	141.8
	千葉	319.5	206	352.0 (1969)	1967	155.2

3か月間降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	留萌	203.5	66	216.5 (1989)	1944	308.6
	福井	487.0	66	533.0 (1987)	1898	741.3
2	北見枝幸	165.0	63	159.0 (2006)	1943	263.3
	鳥取	367.5	70	334.5 (1986)	1944	527.2
	豊岡	407.0	66	351.5 (1983)	1919	619.3

3か月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	酒田	189.3	131	188.6 (1963)	1938	144.7
	金沢	272.0	130	262.3 (1988)	1892	209.1
	伏木	264.8	128	257.1 (1949)	1894	207.0

2	秋田	219.6	139	221.6 (1959)	1900	157.8
	鳥取	297.1	127	310.7 (2004)	1944	233.7
3	富山	275.2	123	278.2 (1988)	1940	224.0
	彦根	373.3	117	400.2 (1902)	1896	318.3

3か月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

降雪の深さ3か月間合計値多い方からの順位更新

順位	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
2	紋別	281	291 (2004)	1957	371
3	網走	303	354 (2006)	1954	253

(注) 値の横に] がある場合には、3か月値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。
平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。

雪の少ない記録の更新

降雪の深さ（冬の合計）の最小値更新

※これまで（昨冬まで）の最小が1cm未満の地点を除いて集計

地点名	降雪の深さの月合計 cm	これまでの最小 cm（西暦年）	開始年	平年値
倶知安	598	599（1954）	1954	814
大船渡	--	9（2000）	1964	61
青森	263	361（1954）	1954	626
むつ	114	183（1972）	1954	440
秋田	72	100（1972）	1954	342
宮古	6	13（1988）	1954	134
酒田	32	52（1972）	1954	321
仙台	4	15（1999）	1954	74
石巻	1	6（2000）	1954	44
福島	33	46（1959）	1954	195
白河	8	21（1979）	1954	135
輪島	10	22（1989）	1954	209
相川	--	11（1993）	1954	141
新潟	5	23（1989）	1954	228
金沢	11	53（1989）	1954	319
伏木	55	68（1972）	1954	353
富山	61	83（1972）	1954	384
福井	24	64（1989）	1954	314
秩父	--	4（1960）	1954	46
西郷	9	37（1998）	1954	122

冬の最深積雪の最小値更新

※これまで（昨冬まで）の最小が1cm未満の地点を除いて集計

地点名	最深積雪 cm	これまでの最小 cm（西暦年）	開始年	平年値
留萌	40	49（1964）	1944	92
江差	8	16（1989）	1943	36
大船渡	--	3（1992）	1961	12
むつ	19	27（1973）	1962	68
八戸	4	5（2004）	1962	31
秋田	8	13（1972）	1962	41
宮古	2	5（1988）	1962	30
酒田	3	7（1992）	1962	36
石巻	1	2（2000）	1962	16
福島	7 =	7（1966）	1962	25
白河	2	5（1982）	1962	21
輪島	3	4（1989）	1962	34
相川	0	3（1993）	1911	20
新潟	2	8（1989）	1891	38
金沢	3	11（1993）	1962	51
伏木	17	21（1916）	1891	64
富山	20	23（1997）	1939	69
福井	10	19（1972）	1898	60
秩父	--	3（2000）	1962	16

西郷	5	8 (1973)	1939	28
----	---	----------	------	----

(注) 「-」は値が1cm未満であることを表す。タイ記録は「=」で表す。
 積雪はデジタルデータが揃っている1962年からの統計値をもとに算出したが、1961年以前の集計値がある場合にはそれを加味した。
 値の横に「】」がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。
 平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。